

2026 KYUGEI SUMMER SCHOOL

2026

九芸サマースクール 開催要項

2026 九芸サマースクール

目次

1. 2026九芸サマースクール開催要項	2
2. 開催講座概要	4
① 平面構成 (担当:金 尾 勁)	5
② 立体構成 (担当:清水 稔)	5
③ 日本画体験ワークショップ (担当:南 聡)	6
④ 写真展を作ろう (担当:荒巻 大樹)	6
⑤ ボールアニメーションを作ってみよう (担当:趙 瑞)	7
⑥ 陶芸でオリジナルマグカップを作ろう (担当:高森 誠司)	7
⑦ 希望のデザインをつくるために (担当:伊藤 敬生)	8
3. 九州産業大学アクセス方法・学内地図	9

※天候等の影響により、変更または中止する場合があります。詳しくは本学ホームページよりご確認ください。
www.kyusan-u.ac.jp

2026 九芸サマースクール開催要項

九州産業大学 芸術学部では、芸術の魅力を若い世代に伝えるため、高校生を対象とした夏季集中講座『2026 九芸サマースクール』を開講いたします。

講座は本学芸術学部の5学科・10専攻の専門分野の中から7講座を開講し、芸術学部の専門的な施設を利用し、2日間かけて完成度の高い作品を制作します。

高校生の新たな可能性を引き出すことを目的とし、様々な芸術表現の講座を体験していただきます。本講座は、芸術分野の多様な表現と大学での芸術の学びを知り、『芸術系』に対する興味を深めていくことができる講座となっています。

※九芸サマースクールは総合型選抜育成型入試の育成プログラムに含まれます。

本講座を受講し、総合型選抜育成型入試を受験する受験生は、本学入試ガイドをご参照ください。(次ページ参照)

1. 開催日 2026年7月27日(月)、28日(火) の2日間
2. 対象 高校生
3. 参加費 無料
4. 開催時間 9:00～14:30 (10:30から10分休憩、12:10～13:00昼休みを含む)
- 1時限目 9:00～10:30 → 10分休憩
- 2時限目 10:40～12:10 → 13:00まで昼休み※昼食は各自持参。学食(アルテリア)をご利用ください。
- 3時限目 13:00～14:30

5. 集合場所(初日のみ) 九州産業大学 芸術学部 15号館 9:00集合 (P9参照)
※集合場所の詳細は、申込確定の案内メールに記載いたします。

6. 申込方法 ネットでのお申込みのみ受付
右のQRコードからエントリーフォームにアクセスし、お申込みください。



● 申込締切 7月5日(日)

※完全事前予約制。当日参加はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

確定した方には、講座1～2週間前に九州産業大学 芸術学部事務室より、改めて詳細のメールをお送りいたします。

※ご登録される際、メールアドレスの入力に間違いがないよう、ご確認をお願いいたします。

※迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合、申込完了通知メールが受信できない事がございますので申し込み前に受信設定を行ってください。

7. 講座について P4～P8の7講座を開講します。
講座の詳細については講座概要をご確認ください。

8. 講座の定員について 各講座とも定員を設けています。(シラバスの講座名の欄に定員を記載)
定員をオーバーした場合は、第2希望に変更していただく場合がございますので、必ず申込書に第2希望をご記入ください。
尚、定員は先着順で決定します。

2026 KYUGEI SUMMER SCHOOL

本サマースクールは、
総合型選抜育成型入試
『育成プログラム』に該当します。(芸術学部のみ)

(注) 総合型選抜試験「育成型」に出願を希望する者は、
サマースクール受講後にレポートの提出が必要です。

※レポート用紙は、当日配布します。

《 参 考 》

総合型選抜試験「育成型」出願資格(抜粋)

■ 出願資格【専願制】 次の①～④すべてに該当する者

- ① 本学での勉学を強く希望し、入学を志す者で、
合格した場合は必ず入学する者(専願制)
- ② 令和9年3月高等学校(中等教育学校含む)卒業見込みの者
- ③ 本学が指定する以下の育成プログラムを受講した者(複数の受講可)
育成プログラム: WCV、Web模擬授業、サマースクール(芸術学部のみ)
- ④ 受講した育成プログラムに基づくレポートを提出し、
KSUアドミッションオフィサーによる面談を受けた者

※詳細につきましては、本学ホームページ(入試情報)でご確認ください。

開催講座概要

講座名	平面構成 (定員:20名)	担当	ビジュアルデザイン学科 イラストレーションデザイン専攻 金尾 勁
■ 講座概要 平面の基本は点・線・面です。点が移動すれば線となり、線が移動すると面になります。構成基礎(平面)の授業ではこれら3つの要素から「平面構成」を学びます。平面構成の勉強の目的は、豊かな発想力(アイデア)と美的感性(センス)を養うことです。発想力と美的感性は、デザイナーに最も重要な「創造力」を生み出すために、必要不可欠なものです。例えば、ものを創造するために道具や技術は必要ですが、それらが揃えば優れた作品ができるわけではありません。道具や技術は優れた作品を作るための必要条件であっても、十分条件とはなりません。「創造力」が備わってこそ、優れたデザイン作品となります。この授業で、構成に対する関心を深め美しい表現を追求し、今後の学習へと結びつけてください。			
■ 講座スケジュール			
7月27日(月)	授業の概要: 授業内容・方法についての説明 平面構成について: 発想の方法と複数のアイデアを提案する練習を行い、複数のアイデアから最も美しいデザインを選択し、平面構成作品を制作します。		
7月28日(火)	平面構成によるトートバッグのビジュアル制作: 1日目に制作した作品を用い、シルクスクリーン印刷でトートバッグを制作します。 講評会: 作品のイメージとコンセプトについて		
■ 受講上の注意 集中力をもって、与えられた時間を有効に使い学習して下さい。またシルクスクリーン印刷では、服が汚れる可能性があるため、エプロンやジャージ等の汚れても差し支えない作業着を用意して下さい。		■ 持ってくるもの 鉛筆及び筆記用具一式、ノート、30cm以上の直定規、糊、カッター、ハサミ、エプロン等の作業着	
講座名	立体構成 (定員:20名)	担当	生活環境デザイン学科 生産造形デザイン専攻 清水 稔
■ 講座概要 私たちが目にする「カタチ」には、それぞれ意味や印象が込められています。本講座では、「速い・遅い」「強い・弱い」などの対義語を各自で設定し、その言葉が持つイメージを立体的な造形として表現します。言葉の意味をカタチに置き換えるプロセスを通して、造形の基礎力や発想力を養い、プロダクトデザインにつながるデザインの考え方を学びます。			
■ 講座スケジュール			
7月27日(月)	授業内容についての説明の後、各人に対義語の設定を行います。素材の特性やカタチが与える印象について把握する講義、スケッチ練習を行います。次に立体構成のアイデア展開を行い試作しながら制作方針を決定します。		
7月28日(火)	前日の試作において発見した視点や問題点を認識した上で作品を完成させます。各人が作品の製作意図を発表する講評会を行います。		
■ 受講上の注意 ハサミ、カッターを使用します。けがに十分に注意して受講して下さい。楽しんで受講して下さい。		■ 持ってくるもの 鉛筆など筆記道具、ノート(無地が望ましい)、定規、カッター、はさみ、のりなど使い慣れているもの。	

講座名	日本画体験ワークショップ (定員:10名)	担当	芸術表現学科 美術専攻	南 聡
■講座概要 岩絵具や銀箔などの日本画素材に触れる体験を通して、楽しみながら学びます。				
■講座スケジュール				
7月27日(月)	日本画を描く時に使う岩絵具や膠などの道具を紹介。和紙の種類や特徴について、岩絵具、胡粉に触れてみましょう。			
7月28日(火)	銀箔貼り体験			
■受講上の注意 汚れても良い服装		■持ってくるもの 筆記用具		

講座名	写真展を作ろう (定員:10名)	担当	写真・映像メディア学科 写真専攻	荒巻 大樹
■講座概要 夏の風景を写真で表現してみましょう。カメラを通して見える世界は普段の視点とどのように変わってくるのか体験するとともに、撮影した写真を組み合わせ、一組の作品に仕上げていきましょう。講座を通して、写真の面白さを体感してみてください。				
■講座スケジュール				
7月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス 大学構内で写真撮影 パソコンを使って写真データのチェックと写真セレクト 			
7月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> セレクトした写真の検討 プリント出力 プリントした作品の展示と講評・まとめ 			
■受講上の注意 屋外で撮影を行うので、水分補給、帽子など、熱中症対策をしてください。		■持ってくるもの デジタルカメラ、筆記用具		

講座名	ボールアニメーションを作ってみよう (定員:15名)	担当	芸術表現学科 メディア芸術専攻	趙 瑞
■講座概要 「Animation (アニメーション)」という言葉は、魂や生命を意味するラテン語の「anima」に由来しています。本講義では、3DCGソフトを使い、キャラクターを生き生きと動かすアニメーション制作を体験します。物の重さや速さ、柔らかさを表現する方法や、キャラクターの感情を豊かに見せる演出など、アニメやゲーム制作に欠かせない技術を学びます。「キャラクターに命を吹き込む」とはどういうことか。実際に手を動かしながら、アニメーションの魅力と面白さを体験してみましょう。				
■講座スケジュール				
7月27日(月)	アニメーションの歴史およびソフトウェアの基本を学び、実際にCGソフトウェアのオペレーションを行います。			
7月28日(火)	CGアニメーション制作を行います。			
■受講上の注意 特になし		■持ってくるもの 筆記用具		

講座名	陶芸でオリジナルマグカップを作ろう (定員:10名)	担当	生活環境デザイン学科 生産造形デザイン専攻	高森 誠司
■講座概要 土の感触をたのしみながら、自分だけのオリジナルマグカップを制作します。ケント紙で型を作り、タタラ技法を用いて土の性質や立体の構成を学びながら、自分のイメージを形にする楽しさを体験します。形や模様、持ち手の工夫などを通して、観察力や発想力、表現する力を育みます。「考えて作る力」を、やさしく実践的に学びます。				
■講座スケジュール				
7月27日(月)	授業内容について説明の後、ケント紙でオリジナルマグカップの原型作り。			
7月28日(火)	マグカップの原型に2mm厚の粘土板を貼り合わせ成形・講評会。			
■受講上の注意 汚れても良い服装、またはエプロンを持参してください。制作では粘土や道具を使用するため、爪は短く整えておいてください。作品は焼成後に完成となるため、当日の持ち帰りはできません。		■持ってくるもの 筆記用具、ノート、定規、コンパス、カッター、ハサミ、ハンドタオル		



Summer school

お問い合わせ

※ご不明な点は下記までお問い合わせください。

九州産業大学芸術学部事務室

Email: art-ksu@ml.kyusan-u.ac.jp / TEL: 092-673-5700